



日本骨髄バンクの現状（2026年3月末現在）

※数値は速報値のため訂正する場合があります。

登録者数	2026年2月	2026年3月	現在数	累計数
ドナー	1,716	1,707	564,155	1,025,374
患者	165	212	1,721	73,358

<年代別ドナー登録者現在数>

約43%	10代	4,300	*うち3月新規登録者は176人
	20代	101,249	
	30代	137,442	
	40代	205,350	
	50代	115,814	

<3月区分別ドナー登録者数>

献血ルーム	311人
献血併行型集団登録会	1,371人
集団登録会	0人
その他	15人

採取数	2026年2月	2026年3月	累計数
骨髄	41	44	27,648
末梢血幹細胞	39	45	2,891
合計	80	89	30,539

2023年8月号から海外採取は含まず、国内の採取のみを掲載しています。

2025年度の採取1,038件、新規登録者30,439件

■2025年度採取総数 1,038（前年比+12）

[国内ドナー⇒国内患者] 1,030
[国内ドナー⇒海外患者] 8

■2025年度新規ドナー登録数

30,439（前年比-5,384）

<内訳>

●骨髄採取 607（前年比-76）

[国内ドナー⇒国内患者] 606
[国内ドナー⇒海外患者] 1

●末梢血幹細胞採取 431（前年比+88）

[国内ドナー⇒国内患者] 424
[国内ドナー⇒海外患者] 7

社会環境が変化する中においても、引き続き多くの皆様に提供・登録のご協力をいただいたことは大変心強く、取り組みへの理解と関心の広がりを実感しております。

特に2025年度は末梢血幹細胞採取の件数が著しく拡大しました。

ボランティアの皆様をはじめ関係各方面のご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも若年層を軸とした新規ドナー獲得にご協力をお願い申し上げます。

スワブによるドナー登録トライアル受付終了

日本骨髄バンクは2026年1月20日(火)より開始した「スワブトライアル3」のキット申込受付を3月26日(木)午前8時50分頃に終了し、特設サイトをクローズいたしました。本トライアルでは、検体採取数の目標である3,000件を大きく上回る約5,170名の皆様よりお申込みをいただきました。

トライアル3を通じてドナー登録をしてくださった方をはじめ、スワブ登録会のイベントへ足を運んでくださった方、SNSで情報を拡散してくださった方、献血併行型ドナー登録会をはじめとする会場でスワブ登録をご案内くださった方、お知り合いに呼びかけてくださった方など多くの皆様からさまざまな形で温かいご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

なお、ドナー登録確認書は、日本赤十字社の骨髄適合検索システムにドナー情報が連携されてから、2~3週間程度で発送いたします。採血による登録よりもお日にちがかかります。トライアル中は様々な確認をしながら進めておりますので、さらに日数を要しておりますのでご了承ください。

スワブ登録情報の連携に関してご不明な点がございましたら、

日本骨髄バンク 広報渉外部 (TEL:03-5280-1789) までお気軽にお問い合わせください。

4月以降は特に学域でのドナー登録会が増える時期となりますが、少なくとも8月末まではスワブ登録のない昨年と同じ環境下でのドナーリクルートとなる見込みです。本格導入時期につきましては、7月のMONTHLY JMDPでの告知を目指し、準備を進めております。

引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

たんぼぼ薬局株式会社さまよりご寄付の贈呈

東海・北陸・関西・四国の各地で調剤薬局を展開し、骨髄バンクを長年ご支援くださっているたんぼぼ薬局株式会社さまより、「処方箋受付1回につき、骨髄バンクに1円を寄付する」支援活動によるご寄付をいただきました。

3月25日(水) 寄付金贈呈式が親会社である株式会社トーカイの本社会長室(岐阜市)で行われました。株式会社トーカイ代表取締役会長であり、たんぼぼ薬局株式会社取締役会長でもある小野木孝二様のご同席のもと、たんぼぼ薬局株式会社代表取締役社長の松野英子様より、日本骨髄バンクの岡本真一郎理事長へ目録が授与されました。

ご厚意に御礼を申し上げるとともに、応援を胸に今年度も患者さんの救命に邁進して参ります。



第5回全日本青少年フルコンタクト空手道選手権大会で

2026年3月8日(日) 国立代々木競技場 第一体育館で行われた第5回全日本青少年フルコンタクト空手道選手権大会が開催されました。

今年も新極真会様よりご寄付をいただき、当法人からは緑健児代表に感謝状を贈呈いたしました。

また、当日は特設ブースにてアンケート抽選会とスワブ登録会を実施しました。

アンケート抽選会では、ドナーの年齢制限や移植数、スワブ登録についてアンケートを行いました。知らないという方が多かった反面、「前回の大会のスピーチで話していたから覚えてるよ!」とうれしいお言葉もいただきました。

ご協力いただいた沢山の方々、ありがとうございました。



音楽ライブイベント「THE BANK 2026」で骨髄バンクドナー登録&普及啓発を実施

3月22日(日)に大阪・GORILLA HALL OSAKAで、献血骨髄ドナー登録啓発LIVEイベント「THE BANK 2026」が開催されました。

同イベントは、骨髄バンクを通じて移植を受けたプロスノーボーダー・荒井DAZE善正さんが代表を務める一般社団法人SNOWBANKが毎年主催している、音楽フェス型のイベントです。GORILLA HALL OSAKAでは2023年から始まり、今年で4回目の開催となります。



今年は献血併行型ドナー登録会に加え、スワブドナー登録会も実施。当日ドナー登録いただいた方には、イベントとコラボした特製ドナーカードを配布しました。

また、会場内の骨髄バンクブースでは、タトゥーシールの配布やクイズボードによる声掛けなど、様々な普及啓発活動を行いました。

本イベントを通じ、多くの来場者・ファンの方々を中心に骨髄バンクについて呼びかける機会となり、最終的には採血によるドナー登録者28名、スワブによるドナー登録者3名と、大変多くの方にご協力いただきました。

ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

ドナー休暇制度導入、933企業・団体に

就業ドナーの方にとって提供しやすい環境を整備するため、「ドナー休暇制度」の導入を全国の企業や団体へ呼びかけております。

現在933の企業や団体、大学等が導入しています(2026年3月末現在、当法人把握分)。

■導入リスト <https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/donorleave/donorleave.pdf>

既に制度を導入・運用していて上記リストに未掲載の場合は、下記の問い合わせ先までご一報ください。申請に必要な「導入連絡書」(エクセルファイル)は[こちら](#)からダウンロードしてご利用ください。

◇ドナー休暇制度・ドナー公欠制度問い合わせ先

日本骨髄バンク広報渉外部 ドナー休暇・公欠制度担当 03-5280-1789(平日9時~17時30分)

富山大学、専門学校福岡看護職大学校が「ドナー公欠制度」を2026年度から導入

造血幹細胞提供のための入院や通院による授業の欠席を公認欠席とする「ドナー公欠制度」を、2026年度より、富山大学(富山県富山市)、専門学校福岡看護職大学校(福岡県福岡市)を含め、全国で21校が同制度を採用しています(2026年4月現在、当法人調べ)。

若年層のドナー確保が求められる中、学生が安心して造血幹細胞提供に踏み出せる環境整備は極めて重要です。当法人では、今後も「ドナー公休制度」の普及と啓発に積極的に取り組んでまいります。

■導入リスト https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/donorleave/list_student.pdf

非血縁者間末梢血幹細胞採取施設の新規認定

下記施設が新たに末梢血幹細胞採取施設として認定されました。

○石川県立中央病院

ホームページでもご覧いただけます。 <https://www.jmdp.or.jp/donation/interview-facilities/>

■認定施設数

骨髄採取認定施設数： 201施設

末梢血幹細胞採取認定施設数： 148施設

ドナー助成制度導入、1112自治体に

「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が下記の自治体でも導入されており、全国で1112自治体となりました。（2026年3月末現在、当法人把握分）

- 三重県 いなべ町
- 三重県 亀山市
- 三重県 紀北町

助成内容は各自治体により異なりますので、直接お問い合わせください。

■導入リスト https://www.jmdp.or.jp/pdf/donation/donorsupport/assistance/donor_municipality.pdf

◇ドナー助成制度問い合わせ先

日本骨髄バンク広報渉外部 ドナー助成制度担当 03-5280-1789（平日9時～17時30分）

■他の都道府県におかれましても、導入されている市区町村がございましたらご報告ください。